

## 循環型ゼロエミッション社会形成研究領域

循環経済移行及びゼロエミッション社会形成に不可欠となる産業廃棄物の有効活用技術開発・研究

### 1. 領域メンバー：川本 健（領域長）

（埼玉大学参加研究科）

理工学研究科・人文社会科学研究科

（連携・協力を図る機関）

埼玉県、さいたま市、国立環境研究所、関連民間企業、関連学協会、他

### 2. 研究領域の目的

国際社会において解決すべき廃棄物問題の中でも、産業廃棄物の適正管理・処理・リサイクルに焦点を当て、**循環経済移行及びゼロエミッション社会形成に不可欠となる産業廃棄物の有効活用技術開発・研究**を、多国間における連携と共通認識を基軸に、国内外の強固な産学官連携ネットワークに基づき推進することを目的とする。

連携国：ベトナム、タイ、スリランカ、パキスタン、デンマーク、ブルガリア、米国、コスタリカ、他

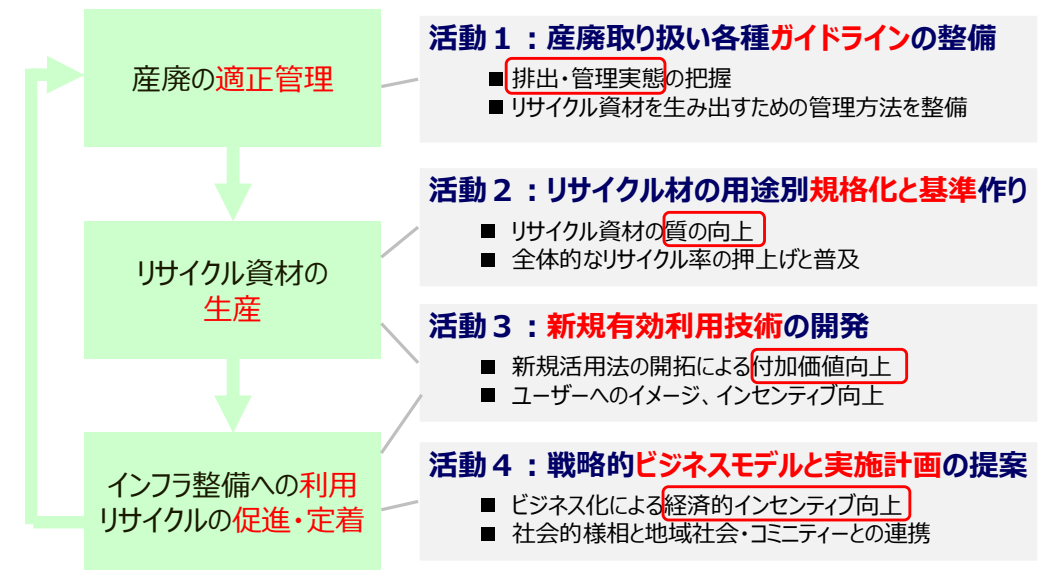
### 3. 研究計画（R4～R8年度）

循環経済移行及びゼロエミッション社会形成に資する国際共同研究・プロジェクトを推進し、**産業界廃棄物問題解決を目指した分野横断型学術研究領域**を形成する。また、将来の当該学術研究領域を担う**国内外の優秀な若手人材育成**（若手教員、ポスドク研究員、博士後期学生）を促進するとともに、各プロジェクトの海外現場での実践・理解を通して本学学生（学部・博士前期学生）の**国際性涵養（実参実究）**を推進する。

（具体的な研究事業・目標）

- ① 学術的成果：論文数35編以上
- ② 外部資金による国際プロジェクト・連携の推進：国際援助支援機関（JICA、UNDP、WB等）による産学官連携国際プロジェクト、他
- ③ 特許・実用新案：国際特許2件以上
- ④ 人材育成：博士号10名以上、修士号20名以上、海外インターシップ50名以上

### 研究構想



### 本研究領域の重点対象となる産業由来細粒材の事例



石炭火力発電所付近の石炭灰（ベトナム）



放置されているリン鉱石残渣（ベトナム）



放置されている鉄鋼スラグ残渣（ベトナム）



未処理のまま投棄されるし尿（スリランカ）



生活排水路に流出した汚泥（ベトナム）